

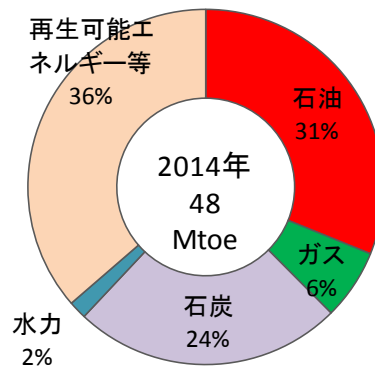
## 1-15 フィリピン

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量(2014年) : 48 百万 toe (日本の 0.11 倍)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量(2014年) : 0.48toe (日本の 0.14 倍)
- (3) エネルギー自給率(2014年) : 54%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量(2014年) : 95.7 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 8.1%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量(2014年) : 0.97 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 10.3%)
- (6) エネルギー源別可採年数 : 原油 19.2 年 (2014年)、天然ガス 34.0 年 (2011年)  
石炭 57.5 年 (2015年)

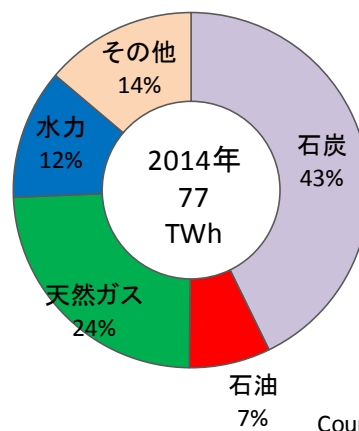
一次エネルギー供給構成 (2014年)



Country: Philippines

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2014年)



Country: Philippines

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー省 (Department of Energy : DOE) がエネルギー政策全般を担う。長官は Mr. Alfonso G. Cusi (2016 年 12 月現在)。

### (2) 基本政策

- DOE が 2012 年 12 月に発表した最新の「フィリピンエネルギー計画 2012-2030」(Philippine Energy Plan: PEP2012-2030)では、次の 6 点を重要な政策目標としている。
  1. エネルギーセキュリティの確保
  2. エネルギーアクセスの改善
  3. 低炭素社会の推進
  4. 気候変動に対するエネルギー部門の耐久性の確保
  5. 地域別エネルギー計画の作成
  6. エネルギー部門への投資促進

### (3) 最近の動向

- 2016 年 6 月、Rodrigo Duterte 氏 (71) が大統領に就任。
- 2016 年 5 月、エネルギー省は電力小売り自由化の範囲を 6 月 26 日から、これまでの過去 12 カ月のピーク需要月平均 1,000kW 以上から同 750kW 以上へと拡大した。
- 2016 年 8 月、エネルギー省は発電施設の役割分担について、主に石炭火力発電所によるベースロード電源が全発電量の 80%、天然ガス発電所を利用したミドル電源を 17%、ピーク電源を 3%とする電源構成が理想的との見方を示した。

## 3. 日本とエネルギー分野における関係

- 2015 年 9 月、三菱商事はフィリピンで風力発電事業に参入した。
- 2016 年 4 月、建設コンサルタントの長大は Mindanao 地方 Butuan 市で、日系 3 社、地場 2 社と、再生可能エネルギー開発に取り組むことで覚書を締結したと発表。
- 2016 年 5 月、伊藤忠エネクスはフィリピンで LPG の卸・小売事業に参入すると発表。
- 2016 年 7 月、バイオマス・ジャパンは、同年 11 月から Mindanao 地方 Davao 市で、バイオディーゼル燃料の普及へ向けた実証事業を始める。
- 2016 年 8 月、国際協力銀行はフィリピンの商業銀行最大手の BDO Unibank と最大 US\$5,000 万の融資枠を設定する協定を結んだ。
- 2016 年 8 月、日立造船はフィリピン初となるごみ焼却発電施設を建設すると報道された。
- 2017 年 1 月、安倍首相はフィリピンを訪問、Duterte 大統領と首脳会談を実施。今後 5 年間でインフラ整備などに 1 兆円規模の支援を表明。また、二国間クレジット制度に関する二国間文書に署名。

## 2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Philippines

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		48 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		0.48 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.19 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		54 %
(5) エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		95.7 百万CO <sub>2</sub> 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		0.97 CO <sub>2</sub> 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	24 %
	石油	31 %
	天然ガス	31 %
	原子力	0 %
	水力	2 %
	再生可能エネルギー等	36 %
(8) エネルギーの輸入依存度		46 %
(9) 石油の輸入依存度		94 %
(10) 輸入原油の中東依存度		86.9 %
(11) 原油の輸入先	第1位	サウジアラビア
	第2位	クウェート
	第3位	UAE

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA

(10)～(11) : The Philippine Department of Energy HP.

"Oil Supply/ Demand Report FY2015"